

施策(小)評価シート

1 基本情報

年度	21	施策名(小)	計画的な行政運営	担当部課名
政策名			計画推進のために	企画管理部企画財政課
施策名(大)			計画の推進	
施策名(中)			行財政運営	
目的			限られた行政経営資源の中で、社会情勢、市民ニーズに対応する、かつ計画的で効率的な行政運営を推進する。	

2 評価指標

指標名	単位	実績値			目標
		19年度	20年度	21年度	22年度
総合計画進捗状況	%	-	-	94.5	-
行財政健全化計画目標達成率	%	95.0	91.9	92.9	100.0
指定事務事業の達成率	%	100.0	95.2	85.7	100.0

3 施策に対する投入資源

投入資源	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
	事業費	千円	80	2,586	2,237
人件費	千円	22,205	21,112	21,031	22,144
合計	千円	22,285	23,698	23,268	24,938

4 施策評価

	評価判定	判定理由及び課題等
①目標の達成状況	△	◎ 概ね順調に推移している ○ 一定程度進展している △ 少しは進展している ▲ 進展していない 実施計画に沿った行政運営を行っている。 行政改革についても、国・県の新たな制度による予算執行を除いた部分では計画どおり推移している。 構成事務事業は、いずれも妥当性が高いが評価指標において未達成も多いため、さらに有効性を高める必要がある。
②社会情勢の反映・有効性	◎	◎ 有効に対応できている ○ 情報把握に努めている △ あまり対応できていない ▲ 有効に対応できていない 本施策においては、行政改革・行政評価などを導入しており、更に第三者評価も先進的に導入し、社会情勢等を反映した取り組みが行われていると考えている。
③構成事務事業の妥当性	◎	◎ 効率的な構成である ○ 改善が必要な事業がある(1事業) △ 改善が必要な事業がある(複数) ▲ 構成自体に問題がある 目標に掲げる内容を遂行するため現在の構成事務事業で妥当と判断できる。
④業務方法の効率性	△	◎ 効率的に進めている ○ 改善等の余地が一部ある △ 改善等の余地が大きい ▲ 抜本的な改善等が必要である 総合計画の達成に向けた基本計画、実施計画、予算計上、行政評価システム等において、連携を強化することが必要。
⑤施策の総合評価	B	A 継続 B 改善 C 再構築 D 見直し・縮減 計画的行政運営のため、構成事務事業の更なる連携強化が必要。また、実施計画にあつては、計画に盛り込む内容の強化が必要。

5 施策の推進に向けた今後の対応

既存事務事業及び新規事業の方向性	実施計画については、長期的な視点で相生市の方向性を検討していくためにも投資的事業にソフト事業を加え内容を充実させていく。 行政評価システムについては、効率的な行政運営や住民の満足度をあげるような仕組みとするため、平成23年度には予算編成や決算など他制度との連動を図りながら職員の負担も軽減していきたい。
------------------	--

6 構成事務事業

NO	事務事業名 事業開始年度	指標名 (単位)			投入資源(千円)		妥当性
					事業費	人件費	
		20年度実績	21年度実績	22年度目標	20年度	20年度	
					21年度	21年度	
			22年度	22年度			
1	総合計画推進事業 -	総合計画進捗状況 %			2,526	6,880	-
					2,105	6,899	
		-	94.5	-	2,500	7,834	
2	重要施策推進事業 -	指定事務事業の達成率 %			0	4,699	5
					0	4,601	
		95.2	85.7	100.0	0	4,311	
3	行政改革推進事業 -	行財政健全化計画目標達成率 %			47	4,089	5
					49	4,106	
		91.0	93.3	100.0	119	4,477	
4	行政評価システム推進事業 平成15年度	事業の改革改善率 %			13	5,444	5
					83	5,425	
		6.9	3.8	10.0	175	5,522	
5					0	0	
					0	0	
					0	0	
6					0	0	
					0	0	
					0	0	
7					0	0	
					0	0	
					0	0	
8					0	0	
					0	0	
					0	0	
9					0	0	
					0	0	
					0	0	
10					0	0	
					0	0	
					0	0	
11					0	0	
					0	0	
					0	0	
12					0	0	
					0	0	
					0	0	

第三者評価委員会意見

社会資本の更新など将来の社会資本整備に係る経費に対して、財政的指標を考慮しながら、長期的な視点で相生市の方向性を検討し進めていただきたい。
 各種制度を連携させ、効率的な行政運営を図るなかで、各事業の重複などを解消するような研究、分析をさらに進めていただき、簡素でありながらも、住民の満足度を上げるような仕組みになるよう改善していただきたい。
 事務事業における行政評価システム推進事業については、他制度と連携を図り運用していかないと非効率なものとなるので、計画的な行政運営の目的達成のためにも改善が必要である。